

○第4回くらしの支援部会事例検討グループワークシート（グループワークまとめ）

【質問①-1】

Aさんはどこに退院しますか？

◎グループホーム

- ・ステップアップを想定し、いずれはアパートタイプのグループホームを目指す。
- ・世話人が常駐しているグループホーム
- ・病院が運営しているグループホーム
- ・アパートタイプのグループホームを目指し包括型のグループホームで支援をもらう。
- ・24時間対応が出来るグループホーム

◎生活訓練施設

- 生活が安定してからグループホームへ移行する。
- 宿泊型自立訓練施設

【質問①-2・質問①-1で退院先を選んだ理由は何ですか】

○支援内容としての理由（グループホームでできること）

- ・見守りがある。持病に対して健康管理を行ってもらえる。
- ・服薬管理をしてもらえる。
- ・お金の相談が出来る。
- ・最低限の衣食住の確保が図れる。生活能力の獲得。
- ・人との関りが出来る。（つながり、信頼関係を作る。）
- ・支援体制をグループホームで作ることができる。

○その他の理由

- ・単身生活が続き人との関りが苦手だから。
- ・本人の意向に沿った退院先である。
- ・母の介護をしたくないという本人の意向から。
- ・母との関係性が良好とはいえず、自宅に帰ることが難しいから。
- ・自宅周囲（近隣住民）との兼ね合いが難しいと考えたから。

【質問②】

・Aさんが、退院先で安定して暮らすためにどのような資源やサービスを使うことがよいと思いますか？

- ・精神科デイケア（確実な通院、服薬管理、ギターを弾く、日中過ごせる場）
- ・訪問看護（精神状態の確認、服薬管理、身体疾患のフォロー等、誰かと話す練習）
- ・生活保護（母と別世帯後）
- ・相談支援事業所
- ・日中活動の場（B型・精神科デイケアなど）
- ・就業・生活医支援センターもしくはハローワーク（将来的な収入を考えて）
- ・成年後見制度、安心サポートの利用（金銭管理のための支援）
- ・地域の理解が必要と考える。

【質問③】

- ・選んだ資源へ退院するために、入院中に A さんに出来るようになってもらいたいことは何ですか？

【医療面】

- ・服薬の検討：可能であればデボ剤の使用を
- ・病識を深める。服薬管理の方法と練習を行っておく。
- ・本人と支援者で体調、精神状態が悪くなった時のサインを確認する。
- ・通院の必要性が理解出来るようにプログラムの中で落とし込む。

【対人・コミュニケーション面】

- ・人との交流、コミュニケーションスキルの向上。
- ・本人の困りごとの抽出、聞き取りを行っておく。
- ・困った時の相談先、誰に相談したらいいか確認、助けを求められるようにしておく。
- ・自分の思い、希望を伝えられるようになる。
- ・退院後関わる支援者との入院中からの関係づくり。支援者の受け入れと、自分には支援が必要だと理解してもらうこと。

【セルフケア、生活スキルについて】

- ・ストレス解消の方法、活動を見つける。
- ・日々の自身の状態を日記などにつけて振り返る習慣をつける。
- ・自身の身辺自立を目指す。(掃除、洗濯、入浴)

【その他、金銭面の支援】

- ・日常の予算内で生活がまかなえるようにしておく。
- ・金銭管理の支援について本人が納得できるよう事前の情報提供を行う。